

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名：W-PH-E マット緑
販売会社：エフピコ商事株式会社
住所：東京都新宿区西新宿六丁目8番1号（新宿オークタワー34F）
連絡先
TEL：03-5325-5786
FAX：03-5325-7754
作成・改訂：2024年10月21日作成
整理番号：20241021-1

2. 危険有害性の要約

分類の名称：危険分類基準に該当しない。
GHS分類：化学品の分類上「成形品」に該当するためGHSによる分類・表示の対象外。
危険性：発火、爆発の危険性はない。
有害性：人体に対する有害性はない。但し、燃焼時はCO、CO₂ガスが発生する可能性がある。
環境影響：影響はない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
組成：

	部材	材質	部位	官報公示 整理番号	CAS No
第1層	フィルム	ポリエチレン	—	—	9002-88-4, 26221-73-8
第2層	エアレイド 不織布	ポリエチレンテレフタレート(PET) ／ポリエチレン(PE)+変性ポリエチレン(PE) 芯鞘型複合繊維	芯	7-1022 (化審法)	25038-59-9
			鞘	6-1, (化審法) 6-1094 (化審法)	9002-88-4, 9006-26-2
		ポリプロピレン(PP) ／ポリエチレン(PE)+変性ポリエチレン(PE) 芯鞘型複合繊維	芯	6-402 (化審法)	9003-07-0
			鞘	6-1, (化審法) 非公開	9002-88-4, 非公開
		パルプ繊維	—	対象外	9004-34-6
層間接着	ホット メルト 接着剤	オレフィン系共重合体	—	既存	社外秘

4. 応急措置

目に入った場合：眼球を傷つける可能性があるため、清潔な水で十分洗い流す。
皮膚に付着した場合：問題なし。
飲み込んだ場合：危険な物質ではないが、異常を感じたときは医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法：一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えない。
 消火剤：冷却効果が大きいので水を使用することが望ましい。

6. 漏出時の措置

注意事項なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：(1) 製品は常温で引火するおそれは無いが、作業場では火気をみだりに使用することを避け、整理整頓に努める。
 (2) 加工設備は静電気を除去するための接地を行う。
 保管：(1) 直射日光、水濡れ、急激な温度変化等を避ける。
 (2) 保管場所では、みだりに火気を使用しない。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度：設定されていない。
 許容範囲：設定されていない。
 設備対策：特段の注意事項なし。
 保護具：通常の使用環境においては不要。但し粉塵発生が著しい場合は、マスク、ゴーグルを着用し、呼吸器、眼を保護する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：固体、緑色フィルム／白色不織布複合シート

融点・比重：

	材質	融点	比重 (H2O=1)
第1層	フィルム	80～132℃	0.9～1.0
第2層	PET/PE,変性PE	260℃/125℃	1.10～1.20
	PP/PE,変性PE	165℃/130℃	0.93
	パルプ	なし	0.6
層間接着	ホットメルト接着剤	130～160℃ (軟化点)	0.9～1.0 (密度)

発火性：

	材質	発火点	引火点
第1層	フィルム	231℃	データなし
第2層	PET/PE,変性PE	データなし	データなし
	PP/PE,変性PE	440℃/400℃ ※	データなし
	パルプ	232℃	データなし
層間接着	ホットメルト接着剤	データなし	210℃以上

(※溶融高温状態で長時間放置した場合、熱分解により300℃以下で発火することがある。)

溶解度：[水] 不溶

10. 安定性及び反応性

- 水との反応性：知見なし。
 酸化性：知見なし。
 自己反応性・爆発性：知見なし。
 粉塵爆発性：知見なし。

安全性・反応性 : 常温で安定。
その他 : 特段の危険性なし。但し酸化剤、強酸、強塩基との接触は避ける。

1.1. 有害性情報

急性毒性 : 知見なし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 知見なし。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 知見なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 知見なし。
生殖細胞変異原性 : 知見なし。
発がん性 : 知見なし。
生殖毒性 : 知見なし。
特定標的臓器毒性 : 知見なし。
吸引性呼吸器有害性 : 知見なし。

1.2. 環境影響情報

生態毒性 : 知見なし。
残留性・分解性 : 知見なし。
生体蓄積性 : 知見なし。
土壤中の移動性 : 知見なし。
オゾン層への有害性 : 知見なし。
その他 : 海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

1.3. 廃棄上の注意

廃棄物は原則として、焼却または埋め立てによって処理する。但し、地方自治体の規制がある場合はそれに従うこと。

- (1) 焼却する時は、焼却設備を用いて大気汚染防止法等に適合した処理を施し、焼却する。
 - (2) 埋め立てる時は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って、処理をする。
-

1.4. 輸送上の注意

- (1) 国連分類及び国連番号 : 該当無し
 - (2) 包装袋が破れるような乱暴な取扱いや、水濡れを避ける。
 - (3) 重量物のため、荷崩れに注意。
-

1.5. 適用法令

- (1) 消防法 : フィルム層が指定可燃物・合成樹脂類(3,000kg) 不織布は該当せず。
但し地方自治体の規制がある場合はそれに従うこと。
 - (2) P R T R 法 : 不織布は該当しない。
-

1.6. その他の情報

- (1) 引用文献 : 原料メーカー提供の製品安全データシート
- (2) 記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により改訂されることがあります。
また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、御利用下さい。
上記の内容は情報提供であって、保証するものではありません。

改訂履歴

2024.10.21 新規作成